



富士通ゼネラルグループ環境活動
2009年度実績報告

会社概要

会社名 株式会社富士通ゼネラル
所在地 〒213-8502
神奈川県川崎市高津区末長1116
設立 1936年(昭和11年)1月15日
資本金 18,089百万円(2010年3月末現在)
売上高(連結) 164,158百万円(2009年度)
従業員(連結) 4,828名(2010年3月末現在)
事業内容 当社グループは、空調機、情報通信の
両部門において、製品および部品の開
発、製造、販売ならびにサービスの提供
を主な事業としております。

主な製品・サービス(連結)

[空調機]

エアコン、VRF(ビル用マルチエアコン)、
ATW(ヒートポンプ式温水暖房システム)、
電気カーペット、温水ルームヒーター、
脱臭機

[情報通信]

消防システム、防災システム、
POSシステム、映像配信システム、
セキュリティネットワークシステム、
民需無線システム、監視カメラ、
車載カメラ、電子部品、ユニット製品

[その他]

家電製品のリサイクル、
電磁波障害に関する測定およびコンサル
ティング

目次

ごあいさつ	P 1
環境に対する基本姿勢	
FUJITSU GENERAL Way	P 2
富士通ゼネラルグループ環境方針	P 2
環境マネジメント	
推進体制	P 3
環境活動のあゆみ	P 3
環境監査	P 4
環境教育	P 4
ISO14001認証取得リスト	P 4
第5期環境行動計画と実績	P 5
第6期環境行動計画	P 6
事業活動における環境負荷	P 7
環境会計	P 7
製品での環境配慮	
「グリーン製品」および	
「スーパーグリーン製品」の開発	P 8
省エネ製品の開発	P 9
化学物質規制への対応	P 9
事業活動における環境配慮	
地球温暖化防止	P10
グリーン調達	P11
化学物質の排出抑制	P11
廃棄物対策	P12
環境社会貢献活動	P12
リサイクル活動	P13

報告対象期間

2009年度

(2009年4月1日～2010年3月31日)

報告対象範囲

環境活動に関する報告は、富士通ゼネラル、
国内関係会社と主要海外生産子会社(4社)

・Fujitsu General (Thailand) Co., LTD

・FGA (Thailand) Co., LTD

・富士通将軍(上海)有限公司

・富士通将軍中央空調(無錫)有限公司

主な事業環境の変化

2009年度、新庄富士通ゼネラルを解散

ごあいさつ

富士通ゼネラルグループは、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、空調機事業、情報通信事業をはじめ、あらゆる事業分野において計画的、継続的に環境活動を展開しています。自らの事業活動を通じて発生する環境負荷の低減に取り組むとともに、富士通ゼネラルグループの技術力と創造力を結集した環境配慮型製品の提供によって、お客様や社会の環境負荷低減に貢献することが私たちの使命と考えています。

当社は、「富士通ゼネラルグループ環境方針」に基づき、3ヶ年ごとの環境行動計画を制定し、環境活動を推進しております。2009年度で第5期環境行動計画が終了しましたので、2010年4月から新たに「第6期環境行動計画（2010～2012年度）」をスタートさせました。「第6期環境行動計画」の具体的な活動として、「環境技術、環境配慮型製品の創出」、「地球温暖化ガス排出量の削減」、「環境マネジメントシステムの導入拡大」など、従来の取り組みをさらに強化した環境保全への活動目標を掲げています。

従来の環境活動は国内、海外生産拠点に留まっていましたが、「第6期環境行動計画」では海外販社とお取引先様を含めた、よりグローバルな環境活動へ拡大してまいります。また、すべての組織と従業員一人ひとりが、より一層の環境意識の向上と定着に努め、地球環境起点を強く意識した活動を展開し、実業を通じた環境負荷低減を強力に推進してまいります。

本報告書は、富士通ゼネラルグループの地球環境保全への取り組みと、2009年度の環境活動実績をまとめたものです。つきましては、本報告書を通じて私たちの環境への取り組みをご理解いただくとともに、皆様の忌憚のないご意見、ご指摘を賜り、さらに環境活動を充実させていきたいと考えております。

取締役 経営執行役副社長
生産、環境担当 兼 GDM推進本部長

村 嶋 純 一



環境に対する基本姿勢

FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Wayは、富士通ゼネラルグループの一人一人が共有・実践すべき行動原則を示したものです。

私たちは共通の理念・指針の下に、快適で安心できる社会作りへの貢献をめざします。

企業理念

富士通ゼネラルグループは、常に変革に挑戦し続け快適で安心できる社会づくりに貢献し豊かで夢のある未来を世界中の人々に提供します

《富士通ゼネラルグループの経営目標》

- ・世界に通じる事業の育成
- ・世界の人々との共生
- ・風通しの良い経営

企業指針

〈目指します〉

社会・環境	社会に貢献し地球環境を守ります
利益と成長	お客様、社員、株主の期待に応えます
株主・投資家	企業価値を持続的に向上させます
グローバル	常にグローバルな視点で考え判断します

〈大切にします〉

社員	多様性を尊重し成長を支援します
お客様	かけがえのないパートナーになります
お取引先	共存共栄の関係を築きます
技術	新たな価値を創造し続けます
品質	お客様と社会の信頼を支えます

行動指針

良き社会人	常に社会・環境に目を向け、良き社会人として行動します
お客様起点	お客様起点で考え、誠意をもって行動します
三現主義	現場・現物・現実を直視して行動します
チャレンジ	高い目標を掲げ、達成に向けて粘り強く行動します
スピード	目標に向かって、臨機応変かつ迅速に行動します
チームワーク	組織を超えて目的を共有し、一人ひとりが責任をもって行動します

行動規範

・人権を尊重します	・知的財産を守り尊重します
・法令を遵守します	・機密を保持します
・公正な商取引を行います	
・業務上の立場を私的に利用しません	

富士通ゼネラルグループ環境方針

■ 基本理念

富士通ゼネラルグループは、環境保全への取り組みが重要な経営課題であると認識し、IT・ホームエレクトロニクス企業としてその持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の持続可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守するにとどまらず、自主的な環境保全活動に努めます。さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続して追求していきます。

■ 行動指針

- ・製品のライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- ・省エネルギー、省資源および3R（リデュース、リユース、リサイクル）を強化したトップランナー製品を創出する。
- ・有害な化学物質や廃棄物などによる自然環境の汚染と健康被害につながる環境リスクを予防する。
- ・IT・ホームエレクトロニクス製品とソリューションを通じ、お客さまや社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- ・環境に関する事業活動、製品およびサービスについての情報を開示し、それに対するフィードバックにより自らを認識し、これを環境活動の改善に活かす。
- ・従業員一人ひとりは、それぞれの業務と市民としての立場を通じて環境の改善に努める。

環境マネジメント

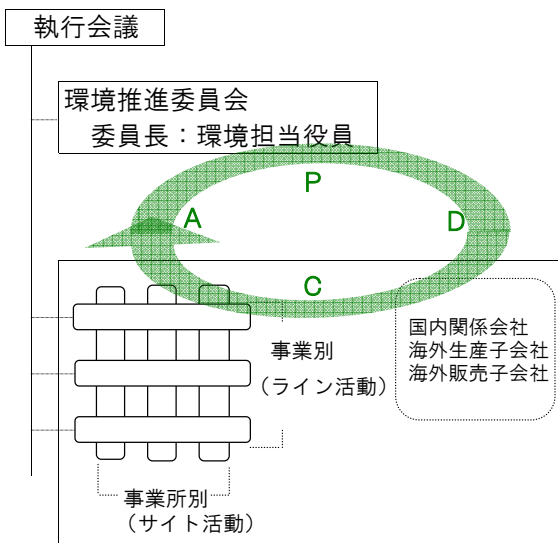
富士通ゼネラルグループでは、自主的、継続的な環境保全を推進するため、環境マネジメントシステムの国際規格（ISO14001）に基づいてPDCAを回し、環境活動を推進しています。

■ 推進体制

「環境方針」を具現化するための課題の明確化と共有化、及びその実行推進を行うため、全社レベルでの推進体制として執行会議直属の「環境推進委員会」で活動を進めています。

活動内容

- (1) 「環境行動計画」の審議
- (2) 「環境行動計画」等に関する全社及び各部門での実行計画と進捗状況の確認、対策
- (3) 環境活動に関する公開資料の審議
- (4) 「スーパーグリーン製品」の審査と認定
- (5) 国内外の環境に係わる法規制等の情報の共有化と対応の検討



■ 環境活動のあゆみ

- 1978年 ・ 公害防止委員会設置
- 1991年 ・ 環境保護推進委員会設置
- 1993年 ・ 「環境憲章」制定
・ 「第1期環境行動計画」制定
- 1995年 ・ 製品の環境への影響を評価するため「製品環境アセスメント」の運用開始
- 1996年 ・ 「第2期環境行動計画」制定
- 1998年 ・ 富士通将軍（上海）有限公司 ISO 14001認証取得
- 1999年 ・ 国内全生産子会社でISO14001認証取得完了
・ Fujitsu General (Thailand) Co.,Ltd、ISO14001認証取得
- 2000年 ・ 使用済家電のリサイクルのため(株)富士エコサイクルを設立
- 2001年 ・ 「第3期環境行動計画」制定
・ ISO14001の国内5サイトを(株)富士通ゼネラル本社・国内生産子会社として統合
・ (株)富士エコサイクル ISO14001認証取得
- 2002年 ・ FGA (Thailand) Co.,Ltd ISO14001認証取得
- 2003年 ・ 「富士通ゼネラルグループ環境方針」制定
- 2004年 ・ 「第4期環境行動計画」制定
・ ISO14001の国内適用範囲を全営業支店に拡大
- 2007年 ・ 「第5期環境行動計画」制定
- 2008年 ・ ISO14001の国内地区の統合化完了
- 2010年 ・ 「第6期環境行動計画」制定

■ 2009年度の活動

環境活動をレベルアップするため、国内では、ISO14001内部監査の強化の一環として、監査員を13名増員しました。今後も継続して、監査員の養成に努めていきます。

また、営業拠点に対して産業廃棄物の適正処理について教育を行い、法令遵守の徹底を図りました。一方、海外生産拠点については、川崎本社から各拠点へ出向いて、ISO14001システムの運用実態を調査した結果、システムの適正な運用を確認しました。今後は、各拠点間で相互の監査を進めていく計画です。



内部監査員教育の様子

■ 環境監査

環境マネジメントシステムに沿った監視、測定、遵守評価を定期的実施しています。また、環境マネジメントシステムを適正に運用するため、定期的な内部監査を実施しています。内部監査は、国内のグループ各社相互の監査と、各社内での監査の二通りを実施しています。今後はこのやり方を海外へも展開していきます。監査で抽出された問題点は、環境経営者に速やかに報告され、改善の対策が行われます。さらに、国内外のグループ会社では、第三者による監査を継続して実施しており、環境マネジメントシステムの有効性を確実にしています。これらの活動の結果、2009年度は重大な法令違反、事故等はありませんでした。

■ 環境教育

富士通ゼネラルグループでは、全従業員を対象にした教育や環境に影響を与えるような自然災害や人為的事故に対応するための実施訓練等を計画的に実施しております。特に、2009年度は国内地区の営業拠点に対して法令遵守を目的として、産業廃棄物のマニフェスト管理やフロン管理を重点にした教育を実施しました。

■ 環境マネジメントシステムの「10年継続賞」を受賞

富士通ゼネラルグループの国内地区は、(株)日本環境認証機構様から継続的改善を表彰するものとして、「10年継続賞」を受賞しました。



記念トロフィー

■ ISO14001認証取得リスト

社名	認証取得年
(株)富士通ゼネラル本社および営業所 浜松事業所 青森事業所	2008年 統合完了
(株)エフイーエス (株)シーエスピー (株)清和会 (株)富士エコサイクル (株)富士通ゼネラルイーエムシー研究所 (株)富士通ゼネラルエレクトロニクス (株)富士通ゼネラルキャリアプロモート (株)富士通ゼネラル空調技術研究所 (株)富士通ゼネラル情報システム (株)富士通ゼネラル設備 (株)富士通ゼネラルハートウェア	
富士通將軍(上海)有限公司	1998年
Fujitsu General (Thailand) Co.,LTD	1999年
Fujitsu General Engineering (Thailand) Co.,LTD	1999年
FGA(Thailand) Co.,LTD	2002年
富士通將軍中央空調(無錫)有限公司	2006年

■ 第5期環境行動計画と実績

重点分野	2009年度末までの目標	2009年度実績	達成状況	関連ページ
製品の環境価値向上				
グリーン製品およびスーパーグリーン製品の開発	①2009年度以降に新規開発した当社製品を対象に、グリーン製品 ^(※1) の比率を100%とする ②2009年度以降に新規開発した国内向けエアコンのグリーン製品を対象にスーパーグリーン製品 ^(※2) のモデル数の比率を20%以上とする	①グリーン製品 24機種（100%） ②スーパーグリーン製品5機種（28%）	○	P8
リサイクル材の採用	国内、海外向けエアコンにおけるリサイクル材（樹脂）の採用を100トン以上とする	107トン	○	P12
指定有害化学物質の全廃	①既存規制への対応(欧州RoHS指令、REACH規則) ②グリーン調達合意書のお取引先様との締結（富士通グループ29指定有害化学物質）	①達成 ②1社未締結	△	P9
地球温暖化対策				
エネルギー消費 CO ₂ 総排出量の削減	①国内事業所におけるCO ₂ 総排出量を、総量で1990年度実績比15%削減する ②海外生産拠点におけるCO ₂ 総排出量を、生産高原単位で2006年度実績比10%削減する	①23.3% ^(※3) 削減 ②15.1% ^(※3) 削減	○	P10
物流・輸送時の CO ₂ 総排出量の削減	製品輸送時におけるCO ₂ 総排出量を、総量で2006年度実績比5%削減する（国内）	23%削減	○	P10
省エネ製品の開発	①国内向けエアコン：「2010年度省エネ法目標基準」を1年前倒しで全モデル達成 ②海外向けエアコン：仕向け地先の省エネ規制に適合した製品開発	①全17モデル ②全14機種	○	P9
ガバナンス強化	①ISO14001の内部監査の強化と法令遵守教育（国内） ②海外生産拠点のISO14001の内部監査（本社による監査）	①監査員13名増員／産業廃棄物、冷媒フロンの適正処理 ②達成対象拠点4社のISO14000のシステムの有効性を確認	○	P4
グリーン調達の強化	①お取引先様のEMS ^(※4) の高度化（FJEMS ^(※5) またはISO14001認証）を推進（国内） ②全お取引先様においてEMSを構築（国内）	①対象4社でFJEMS認証 ②全454社	○	P11
グリーンファクトリーの推進				
PRTR対象化学物質の排出量削減	PRTR ^(※6) 対象化学物質の排出量を、2006年度実績比20%削減する（国内・海外）	国内58.7%削減 海外20.1%削減	○	P11
廃棄物の削減	廃棄物の発生量を、2006年度実績比5%削減する（国内・海外）	国内67.6%削減 海外76.1%削減	○	P12

*1 「グリーン製品」とは、当社製品において省エネ性能、省資源化、有害物質の削減などの環境性能を現行製品より高めた製品

*2 「スーパーグリーン製品」とは、「グリーン製品」の中で、環境性能が業界トップレベルの製品、または自社製品と比較して大幅に改善された製品

*3 CO₂排出量算定基準：電力の国内は「2008年度実排出係数」（2009年度は未公開） 海外工場は「0.410t-CO₂/MWh」で算出。燃料関係は、環境省「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン（2007.3）」で算定

*4 EMS：Environmental Management System（環境マネジメントシステム：環境保全の取り組みに関する体制、手続きなどの仕組み、一例として国際規格のISO14001がある）

*5 FJEMS：Fujitsu group environmental system（富士通グループ独自のEMS）

*6 PRTR：Pollutant Release and Transfer Register（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の促進に関する法律：当社ではモーター製造時に使用するキシレン、トルエンが対象）

■ 第6期環境行動計画

環境負荷低減の取り組みの強化を図るため、2010年度から2012年度の3ヶ年の環境活動の計画として、「第6期環境行動計画」を制定し取り組んでまいります。

<重点課題>

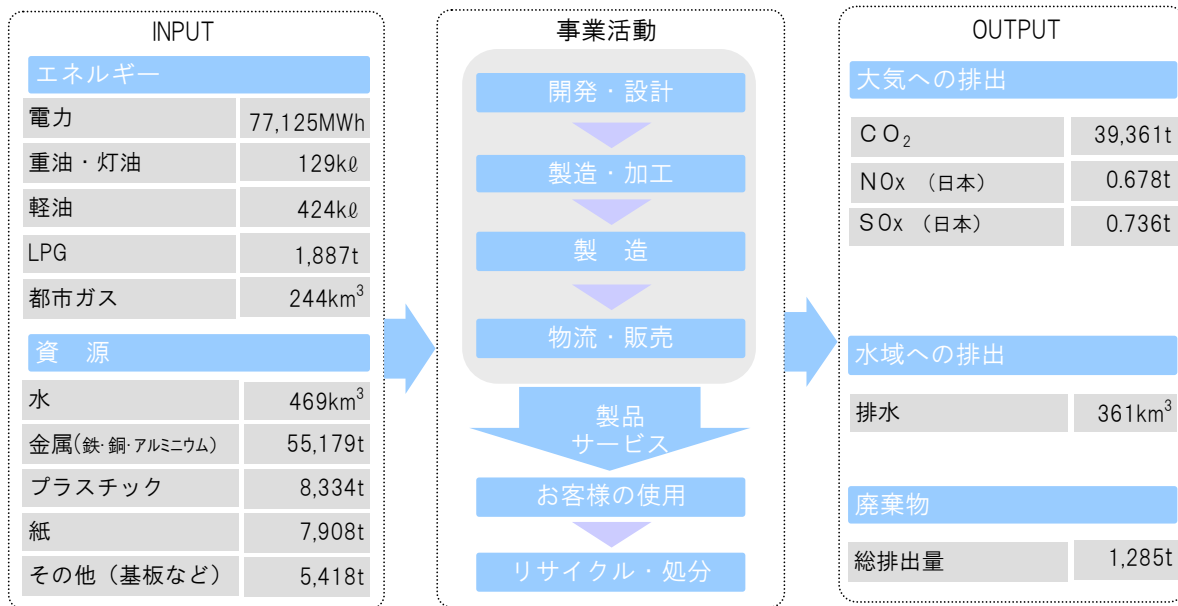
- (1) 製品のライフサイクルを通じて地球環境の負荷を低減する環境対応製品・技術の開発
- (2) 国内拠点、海外生産拠点、国内の製品物流におけるエネルギー消費CO₂排出量の削減
- (3) 海外販売拠点と海外生産拠点の部材調達先への環境マネジメントシステム（EMS）の構築
- (4) 廃棄物、PRTR対象化学物質の排出抑制

富士通ゼネラルグループ「第6期環境行動計画」

重点課題	2012年度末までの目標
製品のライフサイクルを通じて地球環境の負荷を低減する環境対応製品・技術の開発	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2010年度以降に新規開発する全製品を環境配慮強化型製品「グリーン製品」とする 2) 年度ごとに、開発モデル数の比率で20%以上を「スーパーグリーン製品」とする 3) さらなる省エネ技術の開発
国内拠点、海外生産拠点、国内の製品物流におけるエネルギー消費CO ₂ 排出量の削減	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国内拠点のエネルギー消費CO₂排出量： 総量で1990年度実績比25%削減 2) 海外生産拠点のエネルギー消費CO₂排出量： 生産高原単位で2006年度比16%削減 3) 国内の製品物流におけるエネルギー消費CO₂排出量： 総量で2006年度実績比26%削減
海外販売拠点と海外生産拠点の部材調達先への環境マネジメントシステム（EMS）の構築	<ol style="list-style-type: none"> 1) 海外販売拠点でISO14001を取得する 2) 海外生産拠点の部材調達先におけるEMS構築を支援する
廃棄物、PRTR対象化学物質の排出抑制	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国内拠点と海外販売拠点における廃棄物の排出量： 総量で2009年度実績比30%削減 2) 海外生産拠点の廃棄物の排出量： 生産高原単位で2009年度実績比30%削減 3) 国内生産拠点と海外生産拠点におけるPRTR対象化学物質の排出量： 総量で2005年度実績比60%削減

■ 事業活動における環境負荷

富士通ゼネラルグループ一体となった環境活動を推進し、事業活動のあらゆる段階で環境負荷低減を図っています。



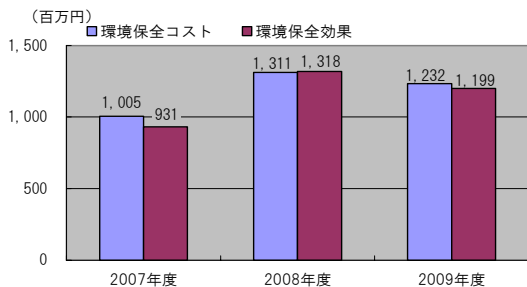
■ 環境会計

2009年度の環境投資額は890百万円となりました。主な設備投資は、家電リサイクルプラントや冷媒回収設備の投資などです。

2009年度のコスト対効果は、33百万円減となりました。これは、減価償却資産の当期取得額の増加が主な要因です。

環境投資額^(*1) 890百万円
 環境保全コスト 1,232百万円
 環境保全効果 1,199百万円

コストと効果^(*2)



環境保全コスト^(*3)

(単位：百万円)

分類	主な内容	費用額	
事業 エリア内 コスト	公害防止	大気、水質汚濁防止	172.2
	地球環境保全	温暖化防止	52.3
	資源循環	資源有効利用	547.1
小計		771.6	
生産の上下流活動コスト	使用済み製品のリサイクル	142.3	
管理活動コスト	EMS、環境教育など	111.9	
研究開発コスト	環境配慮型製品開発	205.4	
環境損傷コスト	土壌汚染修復	0.4	
合計		1,231.6	

環境保全効果

(単位：百万円)

効果の内容		金額
収益	リサイクルによる有価物の売却額	671.9
費用節減	エネルギー費、省資材による節減	527.2
合計		1,199.1

*1 環境投資額は、環境保全を目的とした設備投資額とし、個々の設備の投資額に、当該設備の購入目的のうち「環境保全」が占める割合により設定した按分比（0.05、0.25、0.5、0.75、1）を乗じて計算しました。

*2 2007年度、2008年度の環境保全効果は、実質効果のみとしています。

*3 環境保全コストは、環境活動に係わる諸経費、人件費、設備投資の減価償却費を含み算定しています。

製品での環境配慮

「グリーン製品」および
「スーパーグリーン製品」の開発

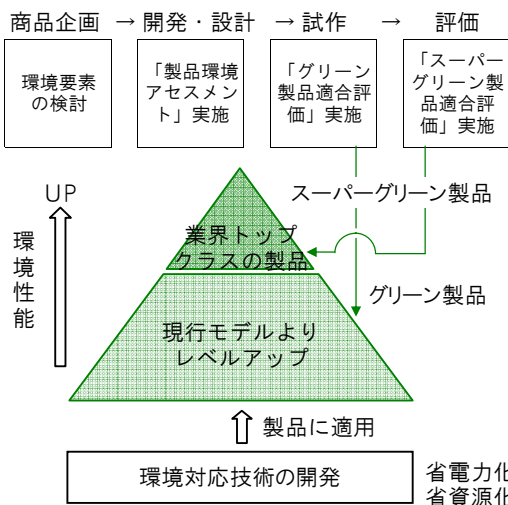
製品の新規開発では「省エネルギー」「化学物質の削減」「資源の有効利用」等、環境負荷の低減につながる「環境配慮型製品」の開発に取り組んでいます。

1995年に「製品環境アセスメント」を制定し製品企画、開発、設計と試作の段階で製品評価を実施し、環境性能が当社基準をクリアした製品を市場へ送り出しております。

2007年以降は、製品の環境性能をさらに強化するため「グリーン製品適合評価基準」を制定し、新規開発する全ての製品の「グリーン製品^(*)」化に取り組んでいます。

同時に「グリーン製品」を対象に、「スーパーグリーン製品^(*)」の開発に取り組んでいます。「スーパーグリーン製品」は、「省エネルギー」「3R設計、技術」「指定化学物質」「環境貢献材料、技術」等のいずれかにおいて環境要素が業界トップレベルにあり、環境性能が特に優れた製品として認定されたものです。

当社は、「グリーン製品適合評価基準」や「スーパーグリーン製品適合評価基準」を定期的に見直すことにより、製品の環境性能のさらなるレベルアップを目指しています。



グリーン製品、スーパーグリーン製品の開発

■ 2009年度の活動

国内向けエアコン、海外向けエアコン、プラズイオン（脱臭機）や車載用カメラで24機種を「グリーン製品」とし市場へ送り出しました。

また「スーパーグリーン製品」の開発においては、「新規開発した国内向けエアコンのグリーン製品を対象に、スーパーグリーン製品のモデル数の比率を20%以上とする」目標を上回る28%を達成しました。

*1「グリーン製品」「製品環境アセスメント」80点以上または、環境要素の評価10項目より1項目以上をクリアした製品

*2「スーパーグリーン製品」当社2009年モデルの同等性能を有する製品と比較し、使用時のCO₂排出量を30%以上削減した製品

■ 2009年度に開発した「グリーン製品」

新規開発製品（フルモデルチェンジ機種）および、主要部品の変更や構造変更の度合いが少ない製品（マイナーチェンジ機種）の全製品を「グリーン製品」として開発しました。

商品名 nocria Sシリーズ

- ・省エネ性能
- ・人感センサーの搭載で
運転時のCO₂排出量を
さらに削減



商品名 Plazion DAS-301V

- ・待機消費電力の削減
- ・3R設計（分離、分別）
に優れている



その他

- ・車載用カメラで従来機種より、軽量化を達成

省エネ製品の開発

各地域において省エネ規制基準が強化される中、省エネ化の推進とタイムリーな規制対応を図っています。

■ 2009年度の活動

国内向けエアコンでは、2009年向け全モデルにおいて、「2010年度省エネ法目標基準」を1年前倒しで達成しました。

また、2010年向けモデルでは、「設定温度」による電気代予測や使用した電気代を確認できる機能を搭載した「nocria Z、Sシリーズ」を開発しました。

海外向けエアコンでは、各国の省エネ規制をクリアした14機種の省エネ製品を投入しました。

■ 受賞実績

2009年11月、スプリットインバーターエアコン「ASTA09LFC」が、オーストラリアで流通するスプリット型エアコンにおいてトップ^{(*)1}の省エネ性能（冷房時EER 5.2）であることが認められ、「Australia's most efficient single phase air conditioner 2009-10」を受賞^{(*)2}いたしました。当社製エアコンの当該賞受賞は、2年連続となります。オーストラリア空調冷凍機工業会(AREMA)^{(*)3}は、同国で空調機ビジネスを行う事業者に対して環境貢献意識を高めるために毎年「AREMA Energy Star Awards」を開催しております。当社が受賞した当該賞は、その中における最も権威あるものとして、オーストラリア政府が国内で販売されているスプリット型エアコンの中から、2009年7月1日時点で最も省エネ性能の優れた商品を選んで授与されるものです。



表彰プレート
「Australia's most efficient single phase air conditioner 2009-10」を受賞

- *1 2009年7月1日現在、オーストラリア国内において販売されている全スプリット型エアコンが対象。
- *2 2008年度の名称は「Most efficient Air conditioner unit as at 30 Nov. 2007」。名称を変更。
- *3 AREMAは「Air Conditioning and Refrigeration Equipment Manufacturers Association of Australia」の略。

化学物質規制への対応

製品に含有する化学物質に関する国内外の規制動向を踏まえ、富士通グループが指定する有害化学物質への対応を明示した「富士通グループグリーン調達基準」の遵守をお取引先様にお願ひし、ほぼ全てのお取引先との間で合意書を締結しています。

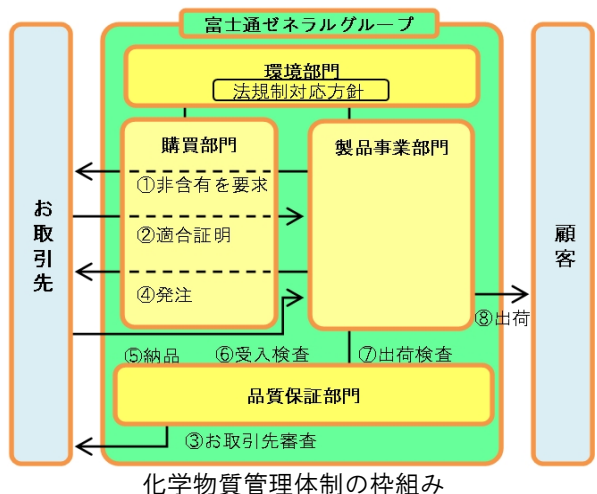
＜富士通グループ指定化学物質＞

- a) 含有禁止物質 (29物質群)
- b) 製造時使用禁止物質 (6物質群)

■ 2009年度の活動

お取引先様の有害化学物質管理体制を強化するため、2007年度に開始した訪問審査指導・教育をさらに推進しました。

また、欧州REACH規則^{(*)4}が義務付ける情報伝達に対応するための社内システム構築と対象化学物質情報の整備を行い、製品に含有する化学物質の管理体制を強化しました。RoHS指令^{(*)5}など法規制への対応としては、環境部門を中心に、製品の事業責任を負う製品事業部門、品質保証部門、購買部門を含めた体制で化学物質管理の徹底を図るなど社内・サプライチェーン全体を含め組織的に活動しています。



- *4 REACH規則：「化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則」
- *5 RoHS指令：「電気電子機器に含まれる特定化学物質の使用制限に関する指令」
(当社は2006年1月生産分から日本を含む全地域向け製品で対応完了)

事業活動における環境配慮

地球温暖化防止

エネルギー使用量の削減

地球温暖化の原因となるCO₂排出量を削減するため、生産効率の向上、社員一人ひとりの活動を柱として事業活動におけるCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

■ 2009年度の活動

エネルギー消費CO₂排出量は、国内13.6千t（1990年度比23.3%減）、海外生産拠点は生産高原単位で2006年度比15.1%削減（2009年度総量 25.8千t）となり、目標をクリアしました。

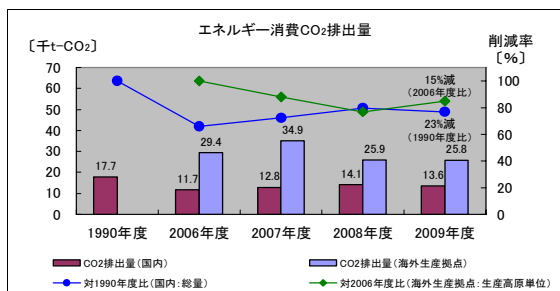
＜主な実施内容＞

- ・空調技術棟の発電機の効率運転による省エネ対策
- ・空調設備の省エネタイプへの更新
- ・プリント基板の熱風加熱炉の断熱遮熱処理による外部への放熱対策
- ・エアコン組立ラインのコンベア間締めによるエネルギー削減
- ・熱交換器の乾燥炉の加熱方法及び設定温度見直しによる省エネ対策
- ・地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」の推進（COOL BIZ、ライトダウンキャンペーンへの参加による省エネ活動）
- ・営業車などの社有車の低排出ガス車への切り替え
- ・照明間引き、不要箇所の消灯



空調ダクト改善（冷風機撤去） 日よけ植物の植え込み

取り組み事例



物流での取り組み

倉庫の統廃合による輸送ルートの見直し、積載効率を改善する輸送手段の採用、お客様に対し迅速に納品するためのオペレーションの効率化や運用方法の見直しによる倉庫間在庫移送の輸送回数の改善に取り組んでいます。

■ 2009年度の活動

対象範囲：国内空調機の販売物流

国内における物流段階でのCO₂排出量は、2,158tとなり、2006年度比23%削減しました。2009年度は、日本全国6港湾で陸揚げ後8カ所の倉庫に入庫する製品の引当^(*)の範囲を洋上(上海～荷揚げ港)まで拡大した取り組みを引き続き実施し、倉庫間在庫移送の発生ロスは前年度売上台数比で3%の削減となりました。また、路線輸送におけるトラックの大型化による輸送回数の削減や小口納品の積載効率を良くするうえで、専用折りたたみコンテナを導入したボックス輸送を採用しました。今後は、中国、タイから出荷された海上輸送の環境負荷の定量化を図り、輸送過程におけるさらなるCO₂削減を目指します。

*1. 出荷する製品を在庫から取り分けて確保しておくこと

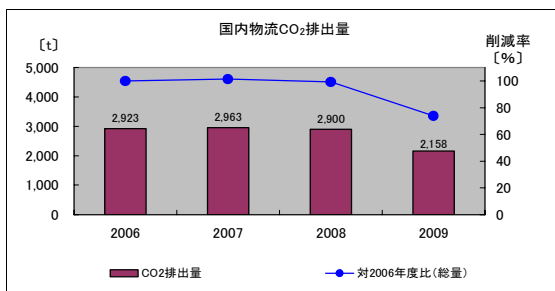


導入前
2トントラックや4トントラックなどで容積を満たすことができない場合の輸送

導入後
ボックス単位のチャーター車で積載効率を改善



積載効率改善の事例

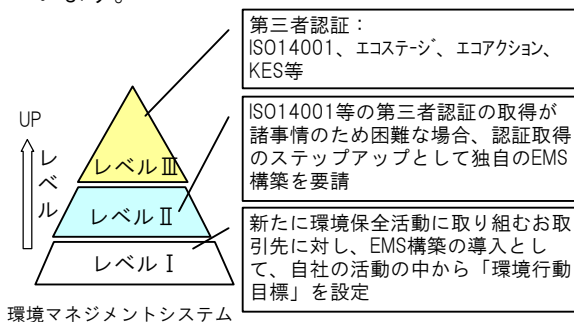


グリーン調達

富士通ゼネラルグループでは、地球環境保全と豊かな暮らしの創造を両立する製品づくりを目指しており、資材調達の段階から環境に配慮した調達を行っています。

そのため、環境保全を積極的に推進しているお取引先様からの調達、また、環境負荷が少なく、有害物質を含まない原材料・製品の調達は推進しています。

お取引先様に対しては、「富士通グループグリーン調達基準」と「富士通ゼネラルグループ個別の調達基準」に基づき、環境マネジメントシステムの構築、富士通グループ指定化学物質の規制遵守、製品含有化学物質管理システムの構築などについて協力をお願いします。



■ 2009年度の活動

対象範囲：国内外のお取引先様

お取引先様の環境マネジメントシステム構築、運用のサポートに取り組み、レベルアップ活動（レベルⅡ以上）を推進しました。2009年度は、対象お取引先様への取り組み目標を100%達成しました。また、中国、タイの生産拠点ではお取引先様を対象としたグリーン調達説明会を開催しグローバルなグリーン調達を推進しています。



海外のお取引先様への「グリーン調達」説明会

化学物質の排出抑制

PRTR対象物質を含まない原材料への切替えや処理工程の改善など排出量抑制に取り組んでいます。

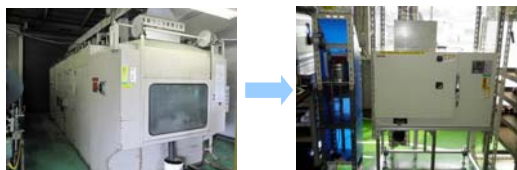
■ 2009年度の活動

対象範囲：国内（青森事業所）／海外生産拠点（FGA）

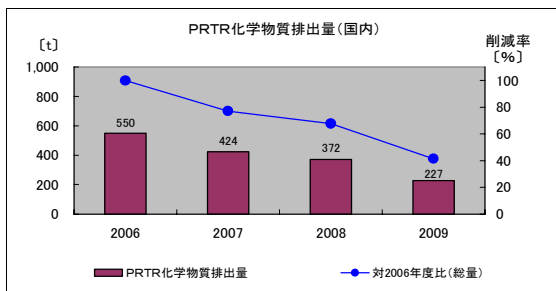
PRTR対象物質のキシレン、トルエンにおいて、モータの生産で使用している化学物質（溶剤）の排出量を抑制するために、ワニス含浸装置の変更を行いました。

モータの生産で使用するワニスには溶剤を含んでおり、ワニス含浸工程で溶剤が揮発します。この工程で溶剤の揮発量を削減するため、小型ワニス含浸装置を使用することにより、溶剤の排出量を抑制しています。また、海外生産拠点においては揮発量低減のため製造工程時間の短縮に取り組み2009年度実績は、2006年度比で20.1%削減しました。

今後も継続し、化学物質の適正管理と処理工程の改善、材料の代替などに取り組み排出量の抑制に努めます。



大型ワニス含浸装置 小型ワニス含浸装置
ワニス含浸装置



廃棄物対策

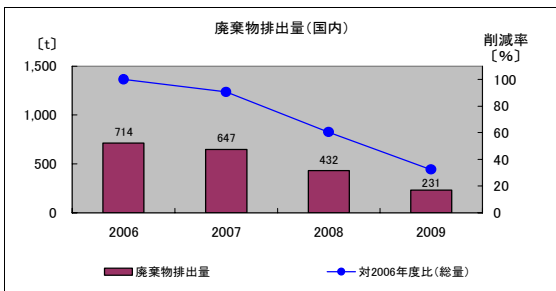
循環型社会の実現を目指し、限りある資源の有効利用を図るとともに、発生廃棄物の3R（リデュース、リユース、リサイクル）に努めています。

■ 2009年度の活動

廃棄物発生量を抑制するために、部品の納品箱をダンボール箱からプラスチック専用容器に変更しました。ダンボール箱は数回の使用しか耐久性がありませんでしたが、何度でも繰り返し利用できるプラスチック専用容器に変更することにより、廃ダンボールの発生量を削減しています。また、再資源化のためのリサイクルルートの開拓や再資源化にとどまらず、生産設備の改善による仕損品を出さないための取り組みを行い、海外生産拠点の2009年度実績は、2006年度比で76.1%削減しました。



ダンボール箱 プラスチック箱
エアコン部品（電磁弁コイル）の納品箱



環境社会貢献活動

地域社会との共生をめざし、社会貢献活動を行っています。

■ 地域貢献活動

地域の皆様に快適な環境を提供することを目的に、川崎本社、青森事業所、国内生産子会社のFGEL（一関）では、事業所周辺などの清掃ボランティア活動を継続し実践しています。タイの生産子会社では、従業員が定期的に草木の剪定等の手入れを行い、緑化エリアの美化に努め、タイ国内の工業団地に入居する企業を対象とした「緑化コンクール」で表彰されました。



緑地エリアの風景

■ 自然環境保全活動

地球規模で進むサンゴ礁の破壊をくい止めて、サンゴを再生することを目的に nocria「サンゴを育てよう」キャンペーンを実施しました。当社ホームページのゲームにチャレンジし、クリアされた方から抽選で自分のニックネームがついたサンゴを「有限会社 海の種」様のご協力のもと、沖縄の海に移植しました。



「サンゴ育成」キャンペーン

■ 環境教育活動

小中学校を対象として、環境の大切さを知ってもらうため、家庭でできる省エネとして、家電製品の上手な使い方などを中心に、出前授業を実施しました。



出前授業の様子

(財)家電製品協会の「省エネ家電普及促進フォーラム」主催

リサイクル活動

当社の子会社である「株式会社富士エコサイクル」での使用済み家電製品のリサイクル事業や資源の自己循環など環境に配慮した事業活動を推進しております。

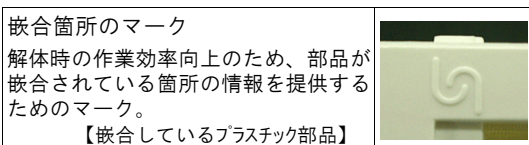
■ 2009年度の活動

2009年度ではエアコンにおいて、クローズドリサイクルによるPP材（ポリプロピレン）を107トン使用しました。

また、リサイクル段階での解体、分別および材料の回収工程での作業の容易化のため、製品への表示やマークによる情報を明示しました。今後も資源循環を考慮した製品の環境配慮設計を推進していきます。

〈エアコンへのリサイクル材の採用例〉

- ・室内機：左右風向板、背板
- ・室外機：サーミスタホルダー、保護網



エアコンへのリサイクルマーク表示例

■ 再商品化等実績報告

2009年度の当社製品の処理台数は287,846台、再商品化重量が11,832トンでした。

使用済家電製品の再商品化実施状況

項目	単位	エアコン	テレビ		冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機
			ブラウン管式	液晶式・プラズマ式		
再商品化等処理台数	台	108,464	14,813	340	151,503	12,726
再商品化等処理重量	トン	4,476	422	5	9,070	429
再商品化重量	トン	4,057	383	4	7,006	382
再商品化率	%	90	90	80	77	89



詳細は環境活動「再商品化等実績報告（平成21年）」をご覧ください。

<http://www.fujitsu-general.com/jp/corporate/eco/recycle/recycle.html>

■ 家電リサイクル

当社は、子会社である「株式会社富士エコサイクル」の家電リサイクルプラントの処理能力強化を目的として、新工場を、当社浜松事業所（静岡県・浜松市）敷地内に建設し、旧工場（静岡県・富士宮市）の業務を2010年4月に新工場に移転させました。

新工場は、新規設備導入や効率化等で旧工場の2倍となる処理能力を有しております。環境面では、敷地の25%を緑地化するとともに、当社製ビル用マルチエアコンを採用するなど工場建屋の省エネルギー化を図りました。また、地域への環境配慮として、集中豪雨などによる工場敷地からの雨水放流量を緩和する雨水流出抑制施設を設置しました。

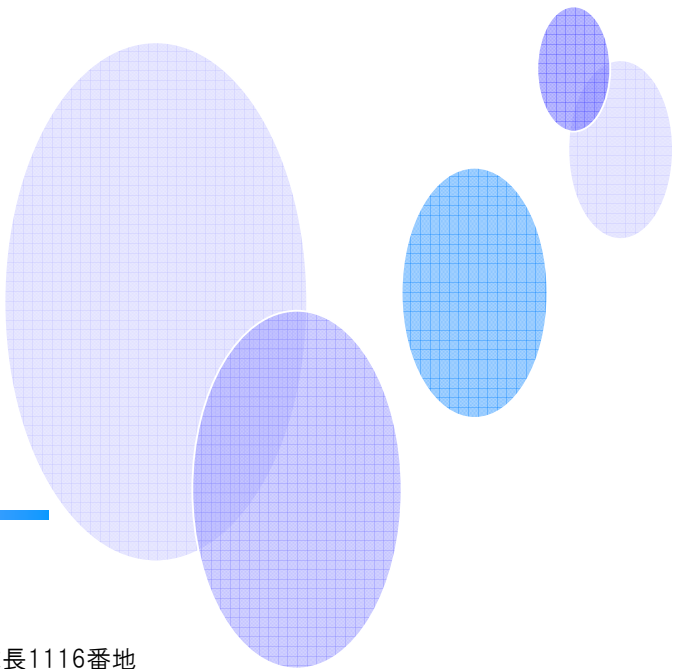
『もったいないを極め「分ければ資源、混ぜればゴミ」を合言葉に』一層の資源の有効活用を図り、環境に配慮した循環型社会への更なる貢献を目指します。



新工場の外観



リサイクル工程



株式会社 富士通ゼネラル

お問い合わせ先

環境統括部

〒213-8502 神奈川県川崎市高津区末長1116番地

<http://www.fujitsu-general.com/jp/contact/eco.html>